

# 組み込み機器向けホワイトリスト型セキュリティ製品 「WhiteSec」 Linux版

## ウイルス定義ファイル不要のマルウェア対策

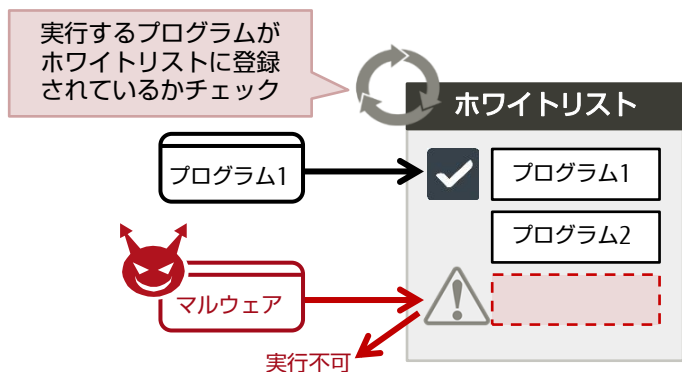
組み込み機器向けホワイトリスト型セキュリティ製品「WhiteSec」は、従来のマルウェア対策製品のように、ウイルス定義ファイルを使用しないため、ウイルス定義ファイルの更新が困難な組み込み機器や閉域網でのマルウェア対策に最適です。

## ホワイトリストによるプログラム実行制御

あらかじめ定義したホワイトリストに登録されたプログラムのみ、実行を許可することが可能です。

特定のプログラムの実行を禁止する、ブラックリスト方式と異なり、ウイルス定義ファイルの更新が不要です。

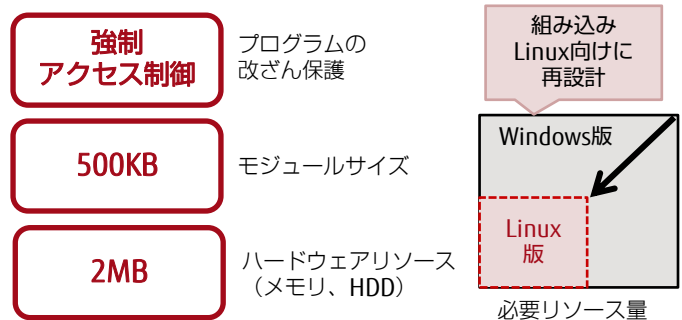
新種のマルウェアが侵入した場合でも、侵入したマルウェアはホワイトリストに登録されていないため、実行できません。



## 機器の性能に影響を与えないセキュリティ対策

OSの制御に加えて独自の強制アクセス制御によりプログラムを保護しているため、負荷の高い改ざんチェック処理が不要となり、セキュアかつ高速にプログラムを起動できます。

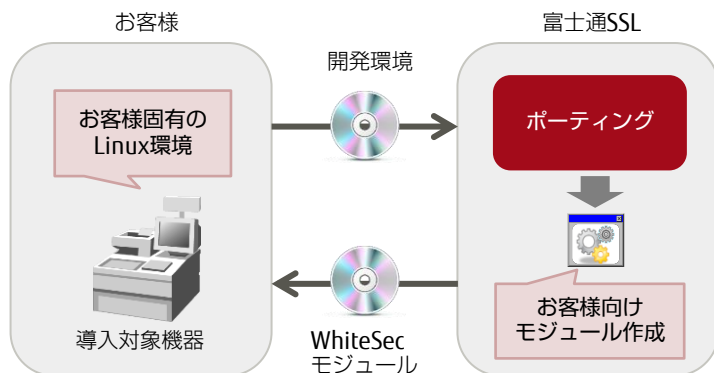
ハードウェアリソースの少ないLinux搭載IoT/組み込み機器で動作させるために、必要な機能に絞って再設計したことで、数百KBとコンパクトなモジュールサイズを実現しました。



## ポーティングサービスの提供

「ポーティングサービス」により、お客様独自のLinux環境に合わせた「WhiteSec」モジュールを提供します。

IoT/組み込み機器で使われるLinuxの各種ディストリビューションやカスタマイズされたLinux環境に対しても「WhiteSec」の導入が可能です。

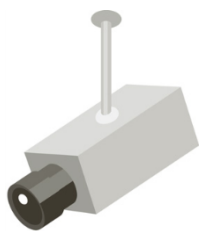


## 導入対象機器例

WhiteSecを導入可能な機器の例としては、以下のような機器があります。  
以下に記載のない機器でも、Linux OSを使用していれば、導入対象機器に合わせてポーティングすることで導入可能です。



POS端末



監視カメラ



複合機



IoTゲートウェイ

## 動作環境

WhiteSec Linux版のソフトウェアは、以下の環境にインストールして利用できます。

OS	組み込みLinux ※Linuxは導入対象機器へのポーティングが必要です
CPU	x86, x64, ARMアーキテクチャ
RAM	2MB以上の空き容量
HDD/SSD/ROM	2MB以上の空き容量

※Windows OSの動作環境は、WhiteSec Windows版のパンフレットをご確認ください。

※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。  
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。  
※記載の内容は、2018年6月現在のものです。

### お問い合わせ先

株式会社 富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ(富士通SSL)

### お問い合わせ総合窓口

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403武蔵小杉タワープレイス  
E-mail : [ssl-info@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-info@cs.jp.fujitsu.com)  
当社ホームページ <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>